

陶児童館・里山のリースクラフト

実施日：令和4年10月12日（水） 天気：晴れ

午後13時30分～午後16時00分

参加者：山田万、小栗、井澤、水野、松之木、山田良、永江、宮地、佐藤 9名



講座の説明と注意点



材料はよりとりみどり



制作アイデア決まる



作品制作お手伝い



作品制作アドバイス



講座の記念写真

13時30分：児童館集合 材料搬入・会場準備、活動事前打合せ

参加児童 17名 職員 2名

14時～1年生8名、2年生4名、3年生5名

陶小学校から隣り合わせの陶児童館の建物に開始時間より、早くから沢山の低学年の子どもたちが集まりました。まだあ～と会場に何度も見に来て待ちきれない様子でした。陶児童館の小木曾先生より挨拶・里山教室の紹介。小里川ダム里山教室から陶児童館のクラフト楽しみにして来ました。始めに約束を1つお願いします。グルーガンを使用するので火傷に注意し、火傷したら必ず近くにいる大人にすぐ声をかけること。材料は自由に選んでください。途中で分からないことや困った時は声をかけてください。さあ、それではお待ちせしましたリースクラフトを楽しみましょう。



陶児童館では2度目のネイチャークラフト開催です。

ダムの周りの自然を大切にしてボランティア活動しながら今日の材料の準備したことを小木曾先生から話していただきました。子どもたちは、沢山の素材に迷いながらも松ぼっくりや大きな貝、色々な表情のどんぐりを会員の手を借りて次々と飾りつけユニークなリースを仕上げました。今回の作品は陶町文化祭で公民館に10月15日、16日に展示され、多くの人に見て頂きました。どの子も初めて見る木の実や花に目を輝かせて植物の名前を聞いてくる子や、貝は何処で拾ったの？海まで行って拾ってきたよ、陶の山や川からの水は海まで流れてるよと言うと不思議そうにしている子どもたち。作品も一つにとどまらず、皆さんから届いた様々な自然の恵みの中からお気に入りの材料を見つけてリースや輪切りの木のペンダントを次々と作っていました。子どもたちから「里山の人たちがわかりやすく、やさしく教えてくださったのでたのしかったです。」の感想文。

本日の活動は、瑞浪市社会福祉協議会から助成を受けて実施しました。